

2021年6月3日

会員各位

(一社)朝霞地区薬剤師会

会長 畑中 典子

和光市ワクチン集団接種支援事業の現状報告

日頃の皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。

さて、朝霞地区では5月に和光市、6月からは朝霞市も加わり、現在3か所で集団接種支援を行っております。不安を抱えたままのスタートでしたが、何とか和光市の5月の集団接種を無事に終えることができました。

皆様に、和光市の現状をご報告いたします。

和光市では、午後1時から4時45分の間で集団接種が行われており、5月中は380名前後でしたが、6月に入った今は400名を超えています。

現在のスケジュールを簡単にご説明しますので、現場の様子を想像していただけると幸いです。

11:30～ 希釈作業開始 3名で生食1.8ml採取、監査して希釈。

12:00～ 看護師に希釈したワクチンを順次渡し、充填作業開始。

(13:00までに約240名分の充填を完了 看護師業務終了)

12:30～ 看護師が充填したシリンジの監査。

残りのバイアルの充填作業を並行して行う。

(14:00までに残りのバイアルの充填と監査を終了)

休憩を挟み、15:00までに翌日の人数分のシリンジセットの準備を完了させる。

15:00～ 経過観察室で接種者の体調観察や質問に応じる。

17:30 業務終了

決められたスケジュールの中で行うワクチンの希釈・充填作業は、やはり手技の力量が問われます。取扱ミスや無駄を決して出さないことが求められるため、かなりの集中力が必要です。

注射の扱いは未経験の方も多く、手技に慣れている方と未経験者のバランスがシフト作成のポイントになっています。未経験者については、年齢的な配慮も必要であると感じています。

薬局業務と並行しての支援のため、平日のエントリーが少なく、ある程度一定の手技ができる方を優先せざるを得ない状況です。

自信のない方は、ぜひ自己学習でレベルアップをお願いします。

6月末からは、新座市の集団接種の支援も始まります。

現在、2市合わせて約100名がエントリーしてくださっているのですが、曜日のバランスは決して良いとは言えず、必要な人数を確保することはまだまだ大変です。

今回、シフトに入らなかった方も、懲りずにエントリーを続けてください。

特に、若い薬剤師さんには積極的にエントリーをしていただきたいと思います。

ご自身がエントリーできない場合も、職場内で調整しつつご支援くださいますようお願いいたします。